



ファームウェアバージョン:	V1.08B51	
ハードウェアバージョン:	DSR-1000N	A1G
	DSR-1000	
	DSR-500	
発行日:	2013/10/7	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しい DSR シリーズにインストールを行う際には、デバイス本体上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用の DSR がファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください

DSR シリーズに関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
注意事項：	2
USB ストレージへの自動バックアップ/リストアの設定に関して：	3
WEB GUI を使用したアップグレード手順：	4
追加機能：	7
修正した問題点：	8
既知の問題：	9

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
Runtime : V1.08B51	2013/10/7	DSR-1000N	A1G
		DSR-1000	
		DSR-500	

注意事項：

- DSR シリーズは 3G 機能をサポートしておりません。
- Microsoft Windows XP は DSR ルータの USB ストレージへのアクセスに関して、制限事項があります。Windows XP 環境での制限を解除するために、D-Link ではレジストリスクリプトファイル (winxp.reg) を提供しています。このスクリプトファイルを適用しない場合には、Windows XP から USB ストレージへのファイルのコピーはできません。(この制限は、USB ストレージから Windows XP へのファイルのコピー時には発生しません)
- 1.04B58 以降、新しいユーザデータベースアーキテクチャが実装されています。新しいユーザデータベースはより簡単かつ直観的に利用できます。DSR のファームウェアを 1.04B58 以降にアップグレードする際は、DSR は古いデータベースでのユーザを新しいものに自動的にマージします。しかしながら、1.04B58 から古いファームウェア (例：1.03B43) にダウングレードする場合には、新しく作成したユーザ、ファイアウォールルール及びアプリケーションルールは削除され、前のファームウェアで設定されたユーザ、ファイアウォールルール及びアプリケーションだけを保持します。
注意：古いバージョンにファームウェアをダウングレードする場合は、リカバリのため、設定ファイルをバックアップしておいてください。
- ファームウェアをダウングレードする場合は、アップグレードする場合よりもシステムの再起動に時間がかかります。
- DHCP 予約 IP アドレス機能が、「DHCP IP プールの範囲内」をサポートするようになりました。取得済みの古い DHCP 予約 IP アドレスは、今後も有効です。新規で DHCP 予約 IP アドレスを作成する場合は、新しい動作に従って作成されます。
- 1.04 から 1.06 にファームアップを行った場合、一部の設定が引き継がれない場合があります。1.06 へのファームアップ後に設定内容をご確認ください。
- RADIUS/LDAP/AD/POP3 を含む外部データベースを通して SSL VPN ユーザを認証するには、ローカルユーザデータベース内と同じユーザ名・パスワードで、管理者がユーザアカウントを作成する必要があります。

USB ストレージへの自動バックアップ/リストアの設定に関して：

D-Link DSR ルータは、USB デバイスが挿入されている間は、自動的に設定のバックアップもしくはリストアに対応しています。次の情報は、バックアップ/リストアを実行するための条件となります。

1. 本ルータの設定では、USB ドライブが挿入されるとすぐに自動的に USB ドライブにバックアップを行います。既に存在する DSR ルータからのバックアップ設定ファイルを持っていない USB ドライブには、「<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg」という形式でバックアップファイル名が提供されます。
2. ルータのシステム LED は、バックアップ操作が開始されることを示すために橙色に 3 回点滅します。
3. USB ドライブの設定ファイルは、ユーザが手動で WEB GUI のどのページにもある“Save Settings”ボタンをクリックし、USB ドライブに既に存在するファイルとルータのモデル名及びシリアルナンバーが一致すると更新されます。
4. リブートの場合においては、ルータは現在の設定ファイル（<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg）を確認します。もし設定ファイルが検出されれば、USB ドライブの設定ファイルはルータにリストアされます。正しいフォーマットの設定ファイルが接続された USB ドライブの両方に存在する場合、最初の USB ドライブの設定ファイルをルータのリストアに使用します。
5. USB ドライブは各モデル名にたいして、<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg のフォーマットで 1 つのみ設定ファイルをもつことが可能です。
6. USB ドライブを工場出荷時状態のルータに挿入し、リブートを行った場合、ルータに既にカスタマイズされた設定ファイルが存在しない時には、バックアップファイルは保存されません。ユーザが手動で WEB GUI のどのページにもある“Save Settings”ボタンをクリックすると、カスタマイズされた設定ファイルが USB ドライブに保存されます。

WEB GUI を使用したアップグレード手順：

1. システムの IP アドレスを指定してルーターにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレスは 192.168.10.1 です。



2. ログイン画面で、「Username」と「Password」を入力してください。
初期状態の「Username」と「Password」は、「admin」です。

3. 「Login」をクリックし、以下の画面を表示します。

Product Page: DSR-1000N Hardware Version: A1 Firmware Version: 1.06B43_WW

4. TOOLS > Firmware の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

Product Page: DSR-1000N Hardware Version: A1 Firmware Version: 1.06B43_VW

D-Link®

DSR-1000N // SETUP ADVANCED **TOOLS** STATUS HELP

Admin
Date and Time
Log Settings
System
Firmware
Firmware via USB
Dynamic DNS
System Check
Schedules

FIRMWARE LOGOUT

This page allows user to upgrade/downgrade the router firmware. This page also shows the information regarding firmware version and build time.

Firmware Information

Firmware Version: 1.06B43_VW
Firmware Date: Fri Jun 8 03:25:00 2012

Firmware Upgrade

Locate & select the upgrade file: [参照...](#)

Firmware Upgrade Notification Options

Check Now:
Status:

Helpful Hints...
The router's firmware can be upgraded here, and the current version is displayed on this page. Another useful feature is to check online for newer versions of firmware, which will update the status field.
[More...](#)

UNIFIED SERVICES ROUTER

5. 「参照」ボタンをクリックしてファームウェアイメージの場所を選択し、「Upgrade」ボタンをクリックします。

Firmware Upgrade

Locate & select the upgrade file: [参照...](#)

6. 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

7. ファームウェアアップデートのステータスが表示されます。

Product Page: DSR-1000N		Hardware Version: A1 Firmware Version: 1.06B43_WW	
			
DSR-1000N	SETUP	ADVANCED	TOOLS
Admin	<p>WARNING: The upgrade process takes a few minutes. Interrupting the upload or powering off the system during the upload may damage the firmware. Please wait until the upgrade process finishes before browsing any sites from your browser.</p> <p>0%</p>		STATUS
Date and Time	<p>FIRMWARE</p> <p>This page allows user to upgrade/downgrade the router firmware. This page also shows the information regarding firmware version and build time.</p>		HELP
Log Settings	<p>Firmware Information</p> <p>Firmware Version: 1.06B43_WW Firmware Date: Fri Jun 8 03:25:00 2012</p>		<p>Helpful Hints...</p> <p>The router's firmware can be upgraded here, and the current version is displayed on this page. Another useful feature is to check online for newer versions of firmware, which will update the status field.</p> <p>More...</p>
System	<p>Firmware Upgrade</p> <p>Locate & select the upgrade file: C:\DSR-1000N_A1_FW1.08B: <input type="button" value="参照..."/></p> <p><input type="button" value="Upgrade"/></p>		
Firmware	<p>Firmware Upgrade Notification Options</p> <p>Check Now: <input type="button" value="Check Now"/></p> <p>Status:</p>		
Firmware via USB			
Dynamic DNS	UNIFIED SERVICES ROUTER		
System Check			
Schedules			

8. アップデート後、再起動が行われます。再起動中は以下の画面が表示されます。

DSR-1000N	
<p>STATUS MESSAGE</p> <p>Router will be up in 132 Seconds</p>	

注意：ファームウェアのアップデート中および再起動中に電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

9. 再起動完了後にログイン画面が表示されます。
ログインし、ファームウェアがアップデートされたことを確認してください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
V1.08B51	<ol style="list-style-type: none"> Captive Portal/SSL VPN/ IPSec ユーザ認証について、より多くの外部認証サーバタイプをサポート致しました。 利用可能な外部サーバタイプ：NT domain / RADIUS / LDAP / AD / POP3 L2TP クライアントモードをサポート致しました。 DSR は、別の DSR へ Site-to-Site L2TP トンネルを生成することができます。 帯域制御機能を強化致しました。 帯域幅マネジメントプロファイルを設定する際に、送信元 IP アドレスに対して IP サブネットを設定可能です。 GRE トンネルをサポート致しました。各機種種の GRE トンネル数は以下の通りです。 - DSR-1000/1000N：20 - DSR-500：15 レイヤ 2 ブリッジモードをサポート致しました。レイヤ 2 レベルで、同時に LAN ポート 1 で DMZ (WAN2)へブリッジすることが可能です。 IP/MAC Binding (DHCP IP reserved)の最大制限数を拡張致しました。各機種種の最大数は以下の通りです。 - DSR-1000/1000N：128 - DSR-500：96 CAPWAP パススルーをサポート致しました。CAPWAP トンネルパケットを認識し、LAN 側へ通過させることができます。 IPSec Pre-Shared key の長さを 64 文字に変更致しました。 IGMP 機能を強化致しました。送信元 IP アドレスを設定することなく、IGMP パケットが DSR を通過することができます。 ブートアップの際にかかる時間を削減致しました。 L2TP パフォーマンスを強化致しました。 WAN インターフェースで VLAN 機能をサポート致しました。 パッケージマネージャによって、複数言語の Web GUI を使用できるように致しました。 ※インターネットで利用可能な言語リストを確認できます。任意の言語パックをインストール／アンインストールしてください。 ※フラッシュメモリの空き容量を確保するため、言語パックは 1 つだけインストールしてください。他の言語パックを使用したい場合は、インストール済みの言語パックをアンインストールしてください。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V1.08B51	<ol style="list-style-type: none"> IPsec パススルーがワイヤレスクライアントに対して動作しない問題を修正致しました。 複数の LAN ユーザが、ひとつのキャプティブポータルアカウントを同時に使用してインターネットにアクセスできる問題を修正致しました。 ワイヤレスクライアントから、カウンターストライクオンラインを利用できない問題を修正致しました。 L2TP のダイヤルアップで、数字のみのパスワードおよびユーザ名が使用できない問題を修正致しました。 CLI から DMZ を有効にできない問題を修正致しました。 PPTP/L2TP クライアントが 10 より大きい値の VLAN ID 配下の LAN クライアントに Ping できない問題を修正致しました。 CLI から SSL VPN ポリシーを追加できない問題を修正致しました。 CLI から SSL VPN トンネルのステータスをチェックできない問題を修正致しました。 PPTP ALG が動作しない問題を修正致しました。 T1 リースタイム（元のリースタイムの 50%）が終了した後、デバイスが DHCP リクエストメッセージを送信しない問題を修正致しました。 トレースルートを使用すると、最初のホップがルータ IP ではなく送信先 IP を表示する問題を修正致しました。 認証済みクライアントがインターネットにアクセスしようとする、キャプティブポータルのログアウトページにリダイレクトされる問題を修正致しました。 LAN DHCP サーバの範囲が SSL VPN クライアントアドレスの範囲と重複できる問題を修正致しました。 CLI から“date and time”の設定が行えない問題を修正致しました。 CLI から Transport Mode（転送モード）の IPsec ポリシーを設定できない問題を修正致しました。 Windows 7 の LAN ホストから USB ドライブへ 600MB 以上のファイルをコピーすると、エラーメッセージが表示される問題を修正致しました。 ‘LAN clients’画面で、LAN クライアントの情報が正しく表示されない問題を修正致しました。 GUI およびバックエンドで、EPSON Stylus Photo 830 プリンタが異なるモデル名で表示される問題を修正致しました。 デバイスが異なるタイムゾーンでの正しい時間を同期せず、設定のリセット後も同期しない問題を修正致しました。 ファームウェアのアップグレードを行うと、設定した IPsec ポリシーが変更される問題を修正致しました。 SNMP の Access Control List 画面で、IP アドレスとサブネットマスクを‘0.0.0.0’に設定できない問題を修正致しました。 ユーザが GUI でプライマリポリシーの“enable redundant policy”オプションを無効にしようとする、‘i18nhtmlmissing’とエラーメッセージが表示される問題を修正致しました。 一般ユーザが、CLI からスーパーユーザのパスワードを変更できてしまう問題を修正致しました。 ユーザが“DHCP under VLAN”を無効にしようとする、エラーメッセージ（i18nhtmlmissing）表示される場合がある問題を修正致しました。 IPsec バックアップポリシーで、不適切な認証および暗号化方式が表示される問題を修正

- 致しました。
26. ログに不要なメッセージが表示される問題を修正致しました。
 27. リモート IPsec エンドポイントを FQDN 0.0.0.0 として許可できない問題を修正致しました。
 28. PPTP クライアントが LAN ネットワークにアクセスできても、他の VLAN ネットワークにアクセスできない問題を修正致しました。
 29. iIPS/IDP が有効になっている場合に nslookup を実行すると、Windows LAN ホストで "DNS request timeout" が発生する問題を修正致しました。
 30. WAN3 にインバウンド (WAN to LAN) HTTP ルールが追加された場合、クライアントの LAN to WAN トラフィックが LAN 側の HTTP サーバに転送される問題を修正致しました。
 31. デフォルト AP が無効にされた場合、"Radio Settings" 画面および "WLAN Status" 画面で、WiFi の現在のチャンネルが表示されない問題を修正致しました。
 32. 以下の CLI の問題を修正致しました。
 - パケットキャプチャに VLAN、DMZ、WAN3 インターフェイスを選択するコマンドがない問題。
 - キャプチャしたパケットを保存する際にファイル名の変更に失敗する問題。
 33. WAN status 画面から DDNS を有効／無効にした後、DDNS が WAN IP アドレスをアップデートしない問題を修正致しました。
 34. PPTP トンネルの制限に達していない場合でも、データベース内で 26 番目の PPTP ユーザが DSR への PPTP トンネルを生成できない問題を修正致しました。
 35. PPTP/L2TP クライアントのユーザ名またはパスワードに "#" が含まれていると、PPTP/L2TP トンネルを生成できない問題を修正致しました。
 36. SSL VPN トンネルの X.509 証明書の期限がきれている問題を修正致しました。
 37. DSR-1000 / 1000N が、ログを閲覧する画面で 1600 個のログを表示できない問題を修正致しました。
 38. キャプティブポータルセットアップ画面で、キャプティブポータルポリシーを追加していても、初期設定のプロファイルが "In Use" と表示される問題を修正致しました。
 39. L2TP のユーザ名またはパスワードが 0 から始まる場合 (例: 01234)、L2TP を使用して ISP に接続できない問題を修正致しました。
 40. Active Sessions 画面にアクティブなインターネットセッションのエントリが表示されない問題を修正致しました。
 41. PPTP クライアントモードで、MPPE 40bit 暗号化をサポートできない問題を修正致しました。
 42. WiFi チャンネルリストが正しくないワイヤレスチャンネルを表示する問題を修正致しました。

既知の問題 :

ファームウェアバージョン	既知の問題点
V1.08B51	<ol style="list-style-type: none"> 1. CLIで、グループの記述にスペースを使用できない問題。 2. CLIで、SSL VPN バナーメッセージを設定できない問題。 3. 管理者が WiFi の動作周波数を 5GHz に変更した後でも、GUI 上では周波数チャンネルが 2.4GHz と表示される問題。 4. ファームウェアのアップグレード後、アクティブポリシーを含むすべての IPsec ポリシーがバックアップポリシーになり、バックアップコンフィグレーションファイルを DSR にロードする問題。 5. すべてのログを閲覧する画面で、上部と下部に同じタイムスタンプのついたログが存在する問題。 6. WAN1 と WAN2 の両方がリンクアップしていると、ICMP レスポンスが稀にタイムアウトする問題。

7. Default Outbound Policyを“Block Always”に設定していると、リモートIPSecクライアントへのICMPトラフィックがブロックされる問題。
8. DSR ルータが現在、IPv6 ファイアウォール及びVPN をサポートしていない問題。
以下のCLI はまだ動作しません。
security firewall ipv6 default_outbound_policy
security firewall ipv6 configure/edit
security firewall ipv6 delete <row_id>
security firewall ipv6 disable <row_id>
security firewall ipv6 enable <row_id>
9. WinXP.reg スクリプトファイルを適用後、ルータはWindowsXP からUSB ストレージに250MB より大きいファイルを転送できない問題。
10. LANにSIPプロキシが存在すると、LAN側クライアントの音声聞こえない問題。
11. 手動設定でのサマータイムがニューファンドランド及びグリーンランドタイムゾーンでは正しく動作しない問題。
12. “Clone your PC’s MAC Address”オプションを選択することにより、WAN1 とWAN2ポートに同じMAC アドレスを設定できる問題。
13. WEP プロファイル (WEP-64)、別のWEP プロファイル (WEP-128) を編集した後、対応するSSID を無効/有効化するまでワイヤレスクライアントは再接続しない問題。
14. 自己証明書要求ページにおいてView ボタンをクリックすると“data to supply to CA”欄が空欄になる問題。
15. 入力、出力のVLAN ドロップパケットエントリがダッシュボードページで正しく表示されない問題。
16. LAN と VLAN上で同時にUPnPを有効にできない問題。
17. IPSec VPN トンネル上では、Bandwidth ルールに従って動作しない問題。
18. 先に設定したSyslog サーバIP アドレスを削除した後もそのSyslog サーバにSyslogを送信し続ける問題。
19. USB ストレージがWindows XPでは完全に動作しない問題。
ローカルにコピーすることなくファイルを開くことができない。また、WindowsXPホスト上のネットワークストレージ共有から大きいファイルをコピーすることができない。
(注：WindowsXP からネットワークストレージへのファイルコピーは正しく動作します。また、この問題は、Windows Vista,Windows7、Linux ベースのOS には影響はありません)
20. リモートデバイスでエクスポートファイルをインポートした後、ポリシーを無効にし、さらに有効化するまでIPSec トンネルが確立しない問題。
21. SNMPWALKでIPSec 詳細を表示するのに時間がかかる問題。
22. スピルオーバーのしきい値が、設定された値と正確に一致しない問題。
23. IPSecフェイルオーバーが特定の状況でしか動作しない問題。(例：Site-to-Siteトンネルモードでは、エンドポイントでのみ発生します。)
24. スピルオーバーモードを使用してデバイスが設定されていて、WAN2がPPPoEを利用してインターネットに接続している場合、WAN2がインアクティブのままになる問題。
25. ユーザがhttpまたはftpのような事前に定義されたサービスを選択すると、帯域幅制御が動作しない問題。
26. PPP インタフェースのMTU サイズを正しく表示しない問題。
27. デバイスがCLI へのログインでXAUTH ユーザを許可する問題。
28. 4/5/6 のメトリック値を持ったRIP-2B とルートを交換しない問題。
29. ページごとに50 ユーザを表示し、ユーザテーブルの一番下に次のページへのリンクを表示することができない問題。
30. SNMP において、何か問題が発生した場合に、ユーザにエラーメッセージを返さない問題。
31. ルータにYahoo Widget で接続できない問題。
32. IPSec、SMTP、DNS ALG が正しく動作しない問題 (IPSec パススルーは問題ない)。
33. トランスペアレントモードにおいてEth2でARP フラッドを監視する問題。
34. SNMP システムアラームトラップがサポートされていない問題。
35. VLAN アップタイムカウンタが表示されない問題。
36. ジェネレータトラフィックをLAN 間でかけている場合に、LAN 側のSIP クライアント間の音声ははっきり聞こえない問題。
37. WANのPort Speedを、「1000 BaseT Half Duplex」「100 BaseT Full Duplex」「10 BaseT

- Full Duplex」に設定しても、設定が正しく反映されない問題。
38. GUI ドロップダウンに以下の事前定義のサービスが含まれていない問題：AOL、DHCP-Relay、Syslog、SQN-netv1、SQN-netv2、TCP-ANY、NetMeeting、H.323、L2TP、NTP、LDAP、Real Video、Real Media Firewall
 39. セカンダリPPPoE プロファイルが、マルチプルPPPoE が動作しなくなった場合にすぐに自動的に動作しない問題
 40. ユーザが、間違ったURL“https://192.168.10.1/scgi-bin/platform.cgi/page=page”に接続しようとした場合、GUI 上にクリティカルエラーが出る問題。
 41. PPTP パススルーはPPTP ファイアウォールサービスよりも高いプライオリティで動作しない問題。
 42. IPSec パススルーはIKE アウトバウンドよりも高いプライオリティで動作しない問題。
 43. ダッシュボードに最近閲覧されたWeb サイトが表示されない問題。
 44. IPv6 WAN がスタティックに設定されている場合、ルータはプレフィックスアドバタイズメントを使ってIP を設定しない問題。
 45. Status->LAN Clients ページを開くときなど、G U I 表示に長い時間かかる場合がある問題。
 46. ワイヤレスクライアントはマルチキャストストリームを再生できない問題。
 47. D-Link DWA-160 Xtream N デュアルバンドUSB アダプタとの利用において、クライアントが接続に成功している場合でも、WPS ページにおいてWPS ステータスが“Failed”と表示される問題。
 48. ファームウェアページの進捗バーがイメージファイルのアップロードプロセスと一致しないことがある問題。
 49. 設定された出力と送信出力表示が不一致となる問題。
 50. Admin Setting ページにおいてドット (.) の入っていないシステム名に関する内容を変更する必要がある問題。
 51. トランスペアレントモード機能がWAN2 で動作しない問題。
 52. CLI において、オプションがアクセス仕様に応じて表示することができない問題。
 53. ipsecVPNPolicyAutoPolicyType パラメータとipsecVPNPolicyStatus パラメータがSNMP を介して読み取り専用である問題。
 54. 長い期間SNMP Get を繰り返すとSNMP デーモンが終了する問題。
 55. SNMP を介してのIPSec の有効化／無効化をサポートしていない問題。
 56. 6 から7 個連続して20MB ファイルをダウンロードした後、SSL-VPN トンネルが切断される問題。
 57. USB ストレージがWindows7 64bit で正しく機能しない問題。
 58. USB ストレージによっては、DSR により読み取り/書き込みアクセスが拒否される問題。
 59. ロードバランスのスパリオーバーモードが動作しない問題：トラフィックがWAN2 インタフェースにスイッチされない。
 60. DSR はDHCP over IPSec をサポートしていない問題。

Copyright 2006-2013 D-link Japan K.K.